

研究・調査報告書

報告書番号	担当
79	滋賀医科大学福祉保健医学講座
題名（原題／訳）	
Lifestyle risk factors and chronic kidney disease. 生活習慣と慢性腎臓病	
執筆者	
Vupputuri S, Sandler DP.	
掲載誌（番号又は発行年月日）	
Ann Epidemiol. 2003 Nov;13(10):712-20.	
キーワード	
腎臓病、アルコール摂取、喫煙、BMI	
<p>要 旨</p> <p>目的： 本研究の目的は飲酒、喫煙、BMI 等の生活習慣が慢性腎臓病の発症に与える影響について調査することである。</p> <p>方法： 本研究では 554 人の病院症例と、対照として年齢・人種・性を一致させた 516 人を用いて症例対照研究を行った。診療記録をもとに新規に慢性腎臓病と診断されたかどうかを調査し、それを主な指標として用いた。アルコール摂取歴や飲酒状況、肥満度（ボディマスインデックス：BMI）などについては電話で調査を行った。生活習慣と慢性腎臓病の関係についてはロジスティック回帰分析を用いて分析を行い、重要な共変量について調整を行った。</p> <p>結果： 密造酒ではあらゆるタイプのもので慢性腎臓病の危険性が高かったが、それ以外のアルコールでは慢性腎臓病との間に有意な関係が認められなかった。慢性腎臓病への喫煙の影響については一貫性がなかったが、寄与危険はほとんど認められなかった。BMI に関しては BMI と腎硬化症との間に有意な正の関係が認められた。</p> <p>結論： 本研究では BMI と腎硬化症との間に有意な正の関係があることが明らかになった。しかし、アルコールや喫煙と慢性腎臓病との間には有意な関係は認められなかった。</p>	